

# 研修を終えて



歓迎レセプションで長中ソーランを披露



目標にもあった「どんどん失敗」を経験したことで、以前よりも積極さが身についたと思います。伝えたいことが伝わらないことも多かったのですが、もっと英語を学習します。また、ホストファミリーのもとに行きたいです。

こせき なつみ 小関 夏海さん (久慈高等学校)



現地の雰囲気や文化、生活スタイルを学べたことが大きい収穫だった。生の英語に触れることで、自分の英語力の現状を知ることができ、課題も発見できました。今後、学校生活の中で英語力を向上できるよう頑張ります。

にしまい まさひろ 西米 雄大さん (久慈東高等学校)



失敗を恐れずに挑戦できたと思います。2カ月前に知り合ったメンバーだけれど、テーマどおり全員で団結して努力できました。この研修が終わりではなく、成果を学校や地域に広めていけるよう取り組んでいきたいです。

おおつぐらい みさき 大粒来 美咲さん (久慈中学校)



日本とアメリカの生活・文化の違いやマナーを学ぶことができました。リスニングやコミュニケーション能力も向上。英語の知識が、まだ足りないと感じました。今回学んだことを、これからは活かしていきたいです。

こもり まな 小森 真奈さん (長内中学校)



自分から積極的に笑顔で話しかけることが、他言語の人とかかわるときに大切だと学びました。久慈市とフランクリンの関係性をより良いものにしていけるように、今回学んできたことを伝えて協力していきます。

みやもと みさき 宮本 美幸さん (大川目中学校)



コミュニケーション能力の大切さを改めて感じました。何かを聞かれたとき、自分の意見を言うことができたし、アメリカで英語が通じてうれしかったです。ホストファミリーとの生活は忘れられない4日間となりました。

こもり はる 小森 陽さん (侍浜中学校)



ホームステイでは、家族と離れ、知らない人と家族のように暮らすことに、最初は緊張したけれど楽しく過ごすことができました。初日には聞き取れなかった英語も、10日後には、少し聞き取れるようになりました。

なかの まこと 中野 真耶さん (宇部中学校)



日本の礼儀・作法を重んじる文化、アメリカの多様性を受け入れる文化、2つの良さに気付くことができました。研修で人生の価値観が180°変わりました。久慈市、日本、そして私の夢に生かせるように頑張ります。

おおかみ りこう 大上 利孝さん (山形中学校)



ニューヨークといえば自由の女神！



USA ?



フランクリン市庁舎で記念撮影する派遣団



アレン先生の銅像と記念撮影



ホストファミリーに別れを告げる派遣団

平成30年度久慈市中生海外派遣研修事業

# One For All



インディアナ州 フランクリン

1月8日から17日にかけての10日間、市内の中生8人と引率者3人で構成される派遣団が、ニューヨークや姉妹都市のフランクリンで研修を行いました。  
今回の研修のテーマは「One For All」。派遣団は、市役所で行われた出発式で、フランクリン市・久慈市姉妹都市親善大使に任命。市役所を出発し、成田空港からシカゴ・オヘア空港を経由し、インディアナポリス空港に到着。9日にはフランクリン市長への表敬訪問や小学校、フランクリン市内を見学しました。見学後には、歓迎レセプションも開催され、歓迎のお礼に長中ソーランを披露。ホストファミリーと初対面し、同日から13日まで4泊5日のホームステイが始まりました。

10日と11日は、市内の中学校・高校で授業見学や文化・スポーツ交流を実施しました。日本文化の折り紙を教え、アメリカの子どもたちは大喜び。さまざまな交流を通じ五感で日米の文化の違いを学びました。13日の朝には、フランクリンからニューヨークに移動。5日間生活を共にしたファミリーとの別れに、派遣団の目からも涙がこぼれ落ちました。  
ニューヨークに到着した一行は、タイムズスクエアやメトロポリタン美術館、9・11メモリアルミュージアムを見学し、行った人にしか分からない空気を感ずきました。  
17日に大勢に出迎えられる役所に到着した派遣団一行。その姿は出発前よりも、ひと回りもふた回りも大きく成長したように見えました。



フランクリンの中学生徒記念撮影



折り紙は大人気